第1回 貿易のしくみと役割

1. 貿易と輸送手段
2. 貿易取引の実務と様々なリスク
3. 関税と法規制
4. WTOとFTA
5. チャイナ・プラス・ワン
6. グローバル調達のポイント

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

1. 貿易と輸送手段

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

貿易とは？

- 貿易とは：　異国間での売買取引

- 貿易形態：
  輸入、輸出、三国間取引
  製品取引、委託加工、OEM取引、開発輸入

- 物流手法

- 大切な基本要素：　モノ、カネ、カミ

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

商社の役割

情報力

世界各地のトレンド、どこに行けば何があるかという仕入れ先情報、誰が何を欲しがっているかというニーズ、新たな事業を組み立てる上で必要な基礎知識、情報、知見など。

売買行為

国際間で自社、他社のために実際に貿易を行い、物を動かす。その為に必要な様々な貿易知識を持つ。単なる売買のみならず組み立て取引などを設計する。

信用調査

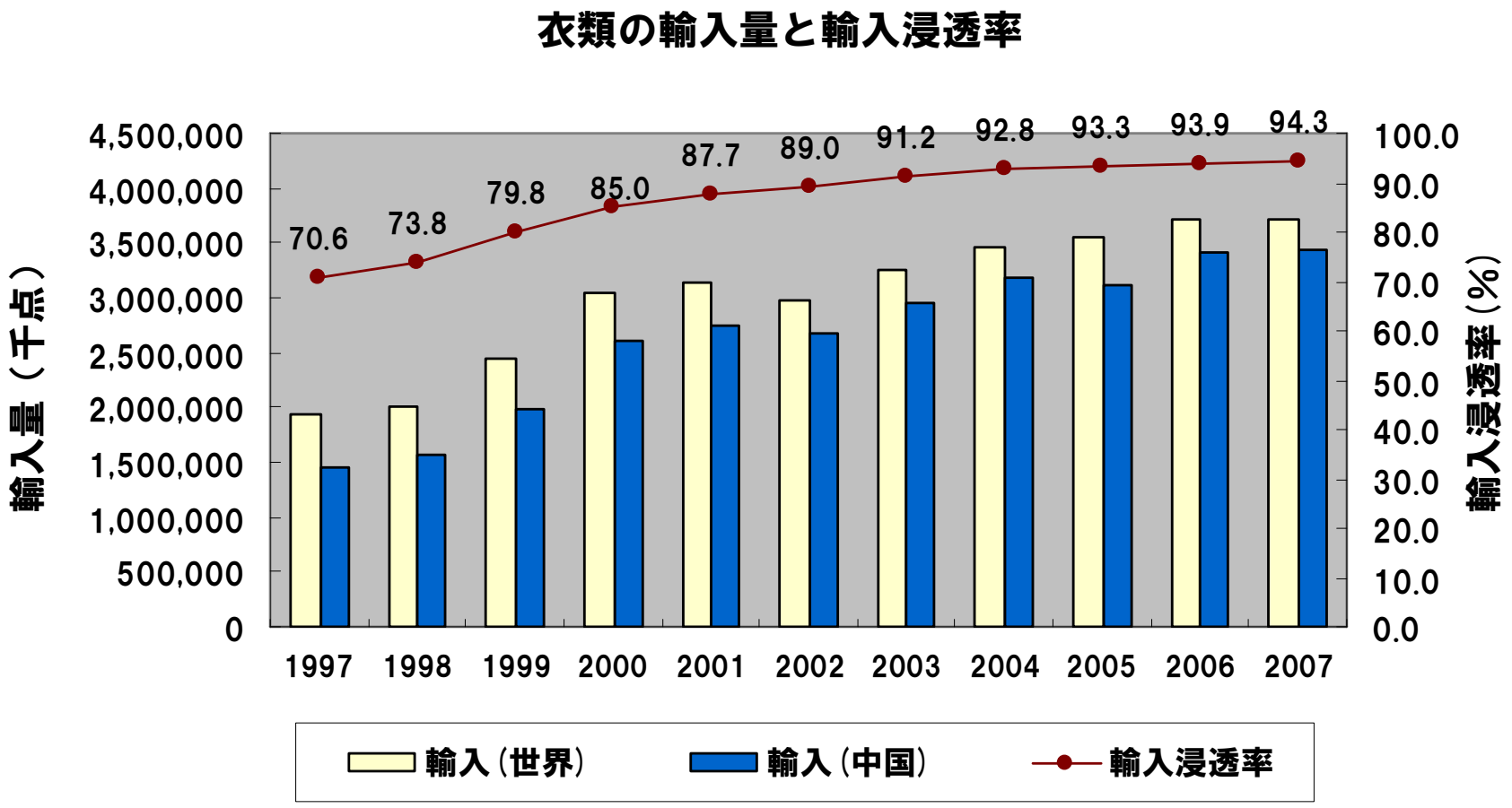
売り先に対する与信リスクを回避するため、貿易の相手の信用状況を確認する。また物流などの委託先に関しても同様の信用調査などを行う。

事業投資

将来有望なビジネスなどのシーズをいち早く発見し、資金を投入したりすることにより、キャピタルゲインを得る。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

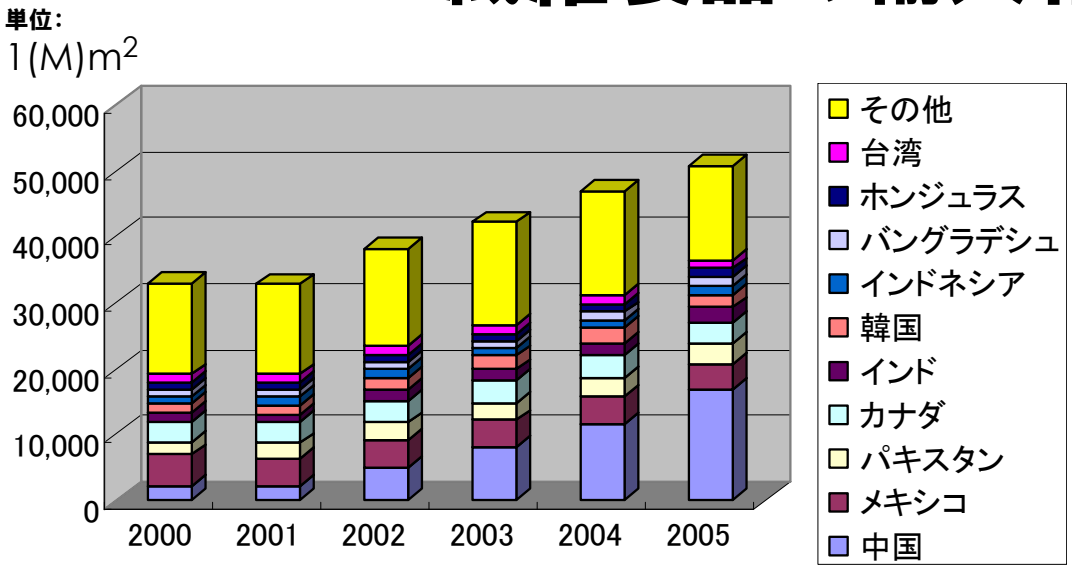
日本のアパレル製品の輸入浸透率



日本繊維輸入組合　「日本のアパレル市場と輸入品概況　2008年」

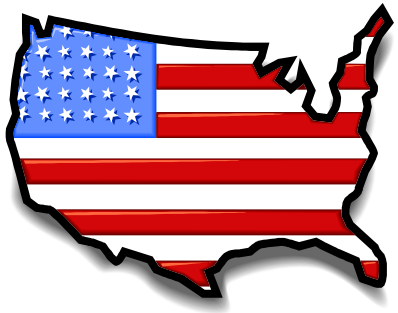
All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

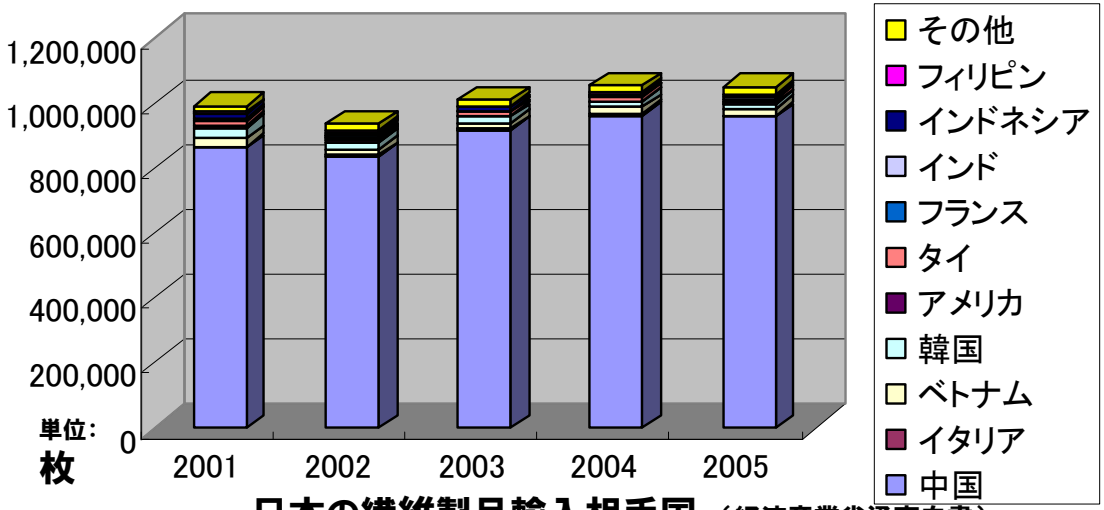
繊維製品の輸入相手先



アメリカの繊維製品輸入相手国（アメリカ商務省統計）

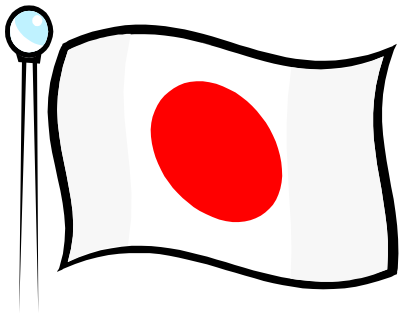
※2005年度の中国からの輸入割合は約33％





日本の繊維製品輸入相手国（経済産業省通商白書）

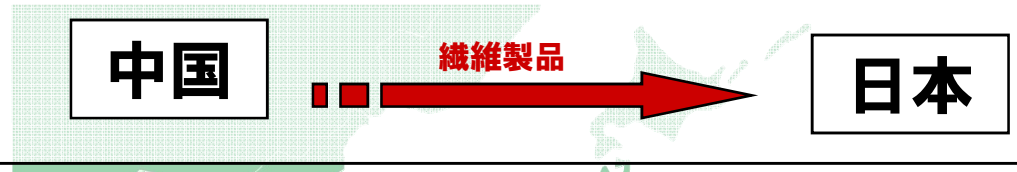
※ 2005年度の中国からの輸入の割合は約92％



All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

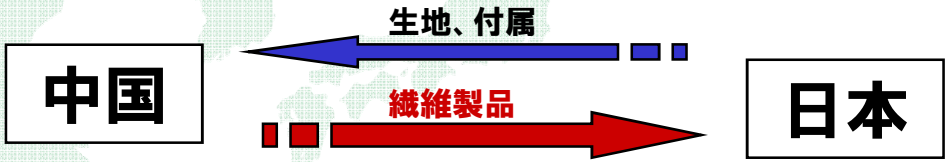
中国よりの繊維製品の輸入（例）

パターン1　中国の素材で作った製品を完成品として輸入



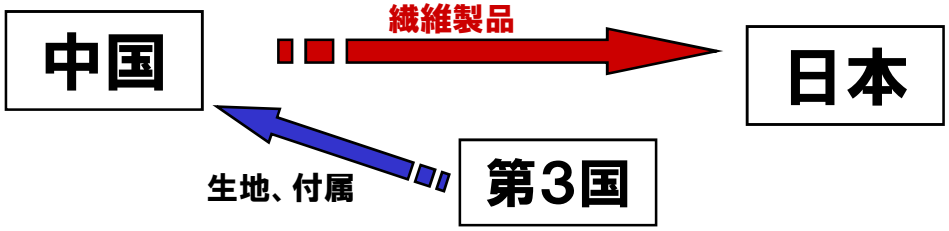
比較的に簡単な製品は中国本土で生地、付属の調達が可能。一貫して生産を行えるのでコストメリットがある。

パターン2　日本より素材を輸出、中国で縫製後に再度輸入



日本にしか出来ないような生地や素材は、日本から中国へ送付し、縫製などの加工のみ行う。その他、一部ボタンやジッパーなどの付属を日本より供給する事もある。

パターン3　第3国より素材を供給、中国で縫製後に日本に輸入



上記2の日本の代わりに第3国を供給元とするスキーム。例えば、イタリアから原糸やテキスタイル、インドネシアから化学繊維、韓国より付属品など。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

国際輸送手段

OCEAN

コンテナ船

フェリー船

特殊用途　ばら積み船、タンカー
自動車専用船　など

AIR

フレイター

パッセンジャー

その他

複合輸送

国際クーリエ

考慮するポイント

貨物の形状、サイズ

緊急度合い

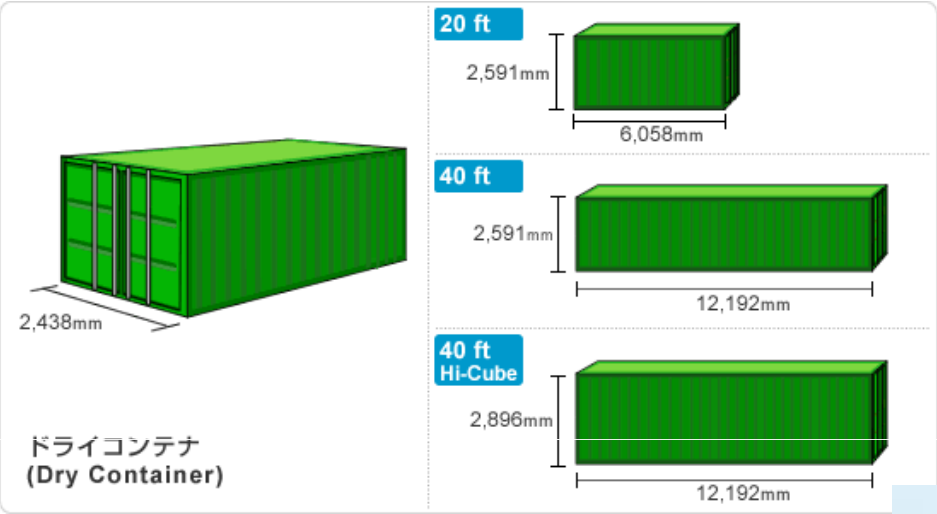
貨物へのリスク

コスト吸収力

輸入、輸出地域

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

コンテナの形状（OCEAN）



海上輸送用

JR用

フォークリフト

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

K LINE
YANG MING
SITC

"K" LINE
"K" LINE
"K" LINE
"K" LINE
HANJIN
HANJIN
HANJIN
YANG MING
NO.11
TCM
www.kline.com
www.hanjin.com

SITC NAGOYA
PANAMA

フェリーによる積出し

2. 貿易取引の実務と様々なリスク

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

貿易に関わるリスク

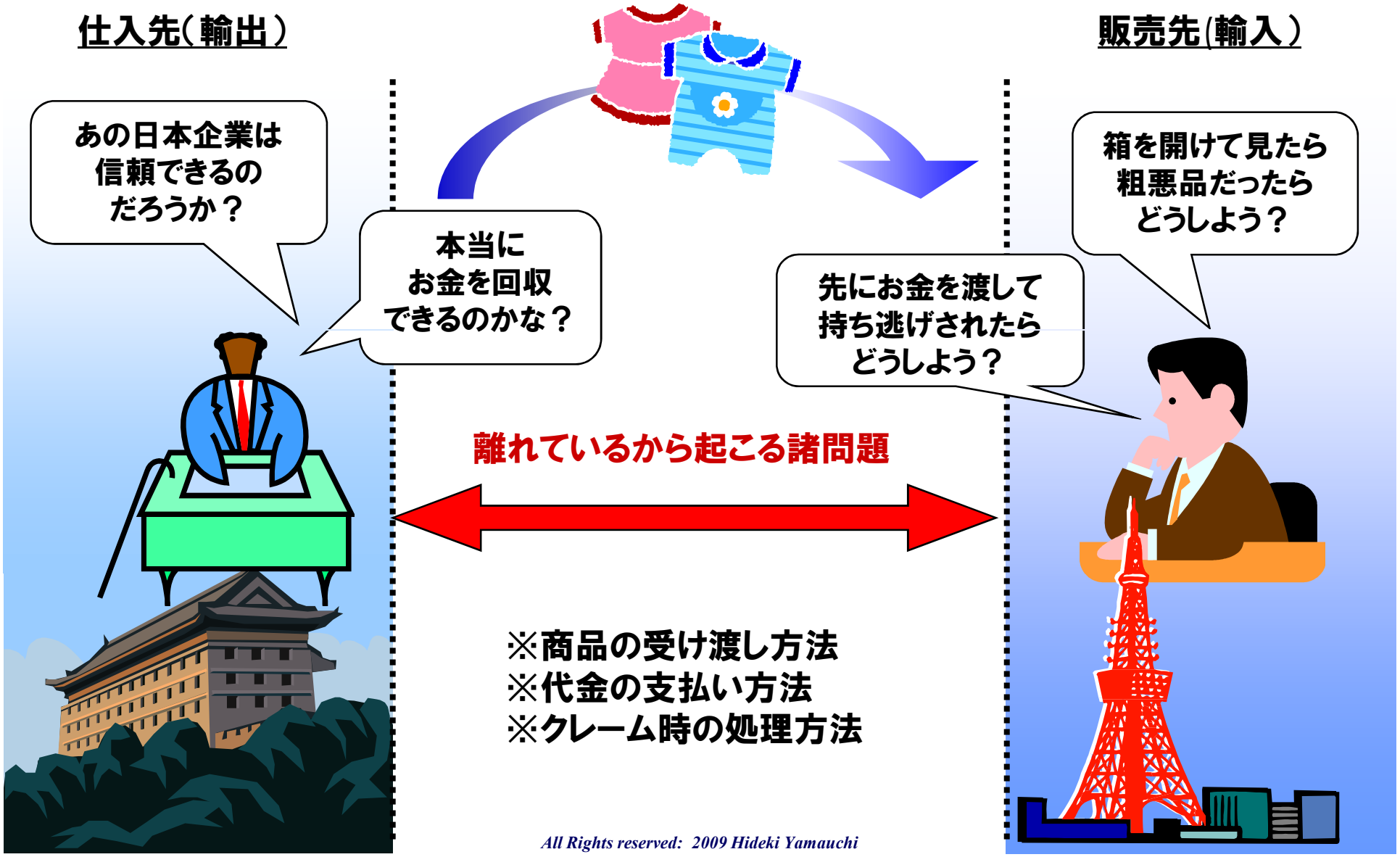
- 契約リスク
- 商品リスク
- マーケティングリスク
- 流通インフラリスク
- 決済リスク
- 為替リスク

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

輸入取引における信用

仕入先（輸出）

販売先(輸入）

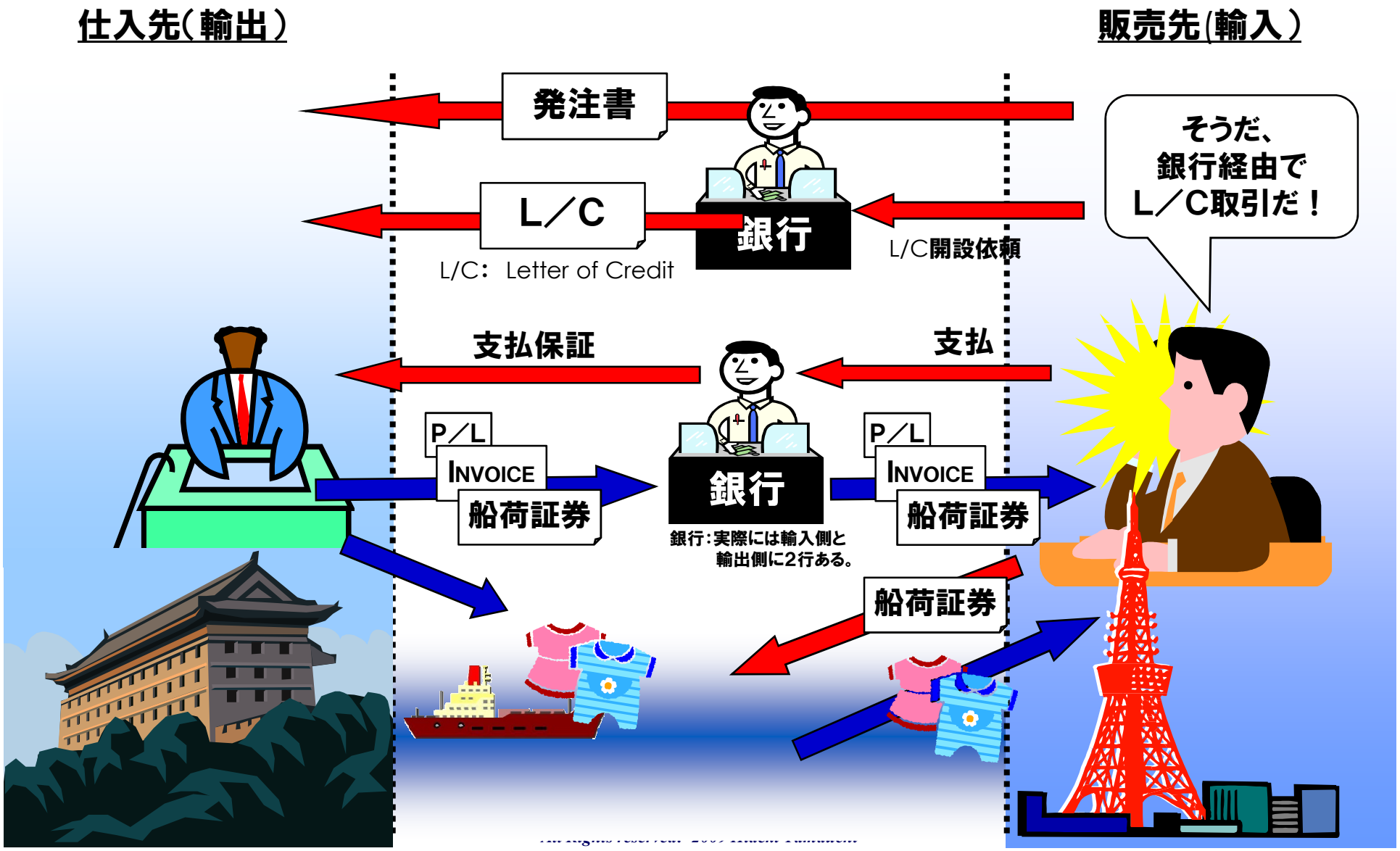


離れているから起こる諸問題

※商品の受け渡し方法
※代金の支払い方法
※クレーム時の処理方法

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

輸入取引における信用（例）



国際商取引の基本条件

インコタームズ ： INCOTERMS

(International Rules for Interpretation of Trade Terms)

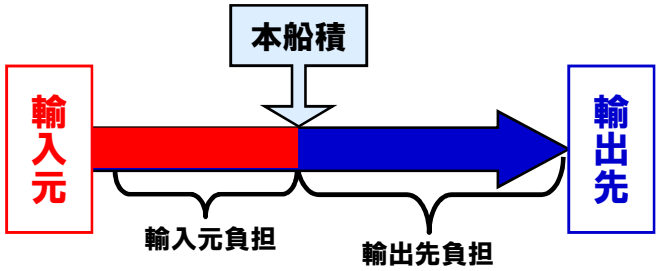
国際商業会議所が制定した、売り手と買い手の義務、コストやリスクおよび貨物の所有権の分岐点の基準を示したルール

E. 出荷条件

EXW(Ex Works) 工場渡条件

F. 主要運送費込条件

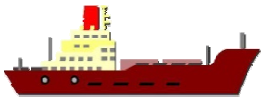
C&F(Cost and Freight) 運賃込条件
CIF(Cost, Insurance and Freight) 運賃保険料込条件



FOBの概念

F. 主要運送費買主負担条件

FCA(Free Carrier) 運送人渡条件
FOB(Free On Board) 本船渡条件



D. 到着条件

DAF(Delivered At Frontier) 国境持込渡条件
DDU(Delivered Duty Unpaid) 仕向地持込渡(関税抜き)条件
DDP(Delivered Duty Paid) 仕向地持込渡(関税込み)条件

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

支払い条件の種類

L/C (Letter of Credit)

（信用状）　銀行が発行する支払い確約書。遠隔地との取引において銀行による信用供与を加えた決済方法。
輸出者は船積みと同時に輸出代金を回収でき、輸入者も代金を前払いなどが必要なくなる。

D/P (Document against Payment)

（手形支払書類渡し）　輸入者が銀行に代金を支払うことにより、船積書類を入手し、貨物を受け取ることができる。
支払い方法には、一覧払い（At Sight）と 期限付き手形（Usance）払いの2種類がある。

D/A (Document against Acceptance)

（手形引受書類渡し）　輸入者が銀行に対して荷為替手形の支払いを引き受けることにより、船積書類を入手し、
貨物を受け取ることができる。

T/T Remittance（Telegraphic Transfer Remittance）

（電信送金）　銀行を利用して代金送付する方法、国内での「振込み」と同じ。送金決済が手軽で、
銀行コストなどを安く抑えることができるが、信頼関係がない場合は送金、回収などのリスクがある。

Advance Payment

（前払い）　文字通り商品を受け取る前に、仕入先との間で代金を決済する方法。銀行や仕入先からの
与信が得られない場合に行う、買い手にとっては不利な条件。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

その他リスクの軽減方法 1. 保険

海上保険

輸送中のリスク

破損、抜き取り、
水濡れ、火災、事故、
爆発、落下、盗難、
沈没、衝突

ストライキ、戦争

PL保険

販売商品のリスク

製造物責任法関連

貿易保険

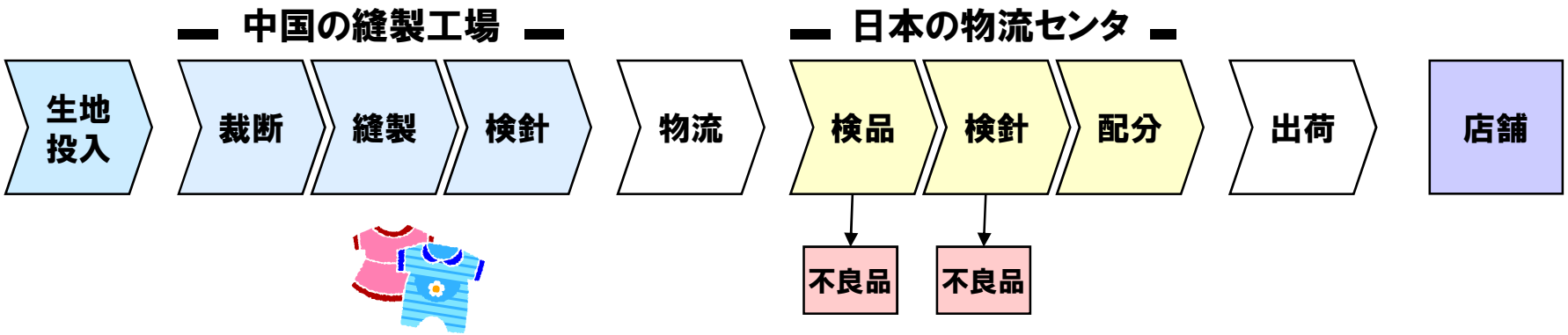
信用上、他のリスク

回収不能、不渡り、
投資回収不可、
カントリーリスク

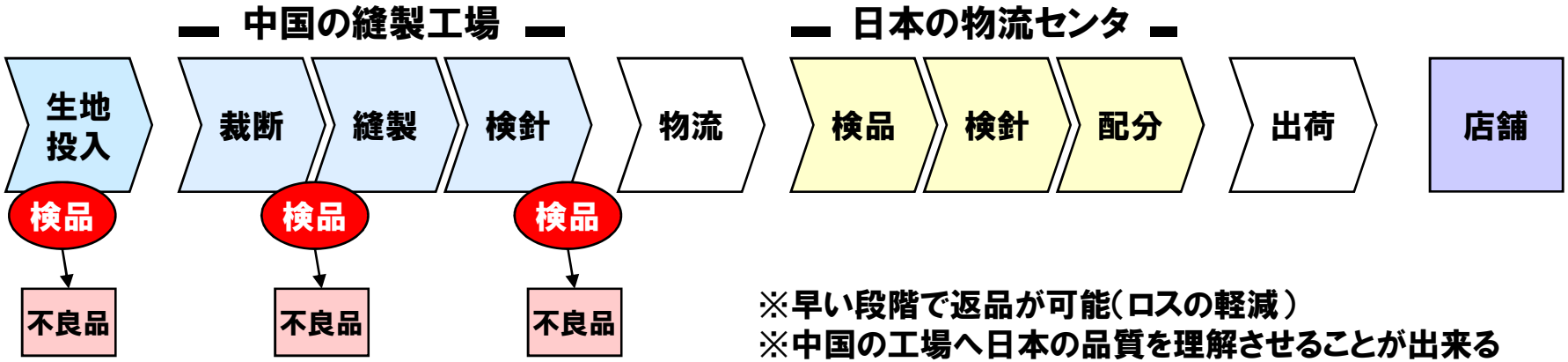
All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

その他リスクの軽減方法　2. 現地検品

従来のフロー（イメージ）



新業務フロー（イメージ）



※早い段階で返品が可能（ロスの軽減）
※中国の工場へ日本の品質を理解させることが出来る
※不良品の流通に物流費をかけない。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

その他リスクの軽減方法　2. 現地検品

生地検品

製品検品

外観、サイズ、縮率、ホルマリン、
堅牢度、防炎など

件数

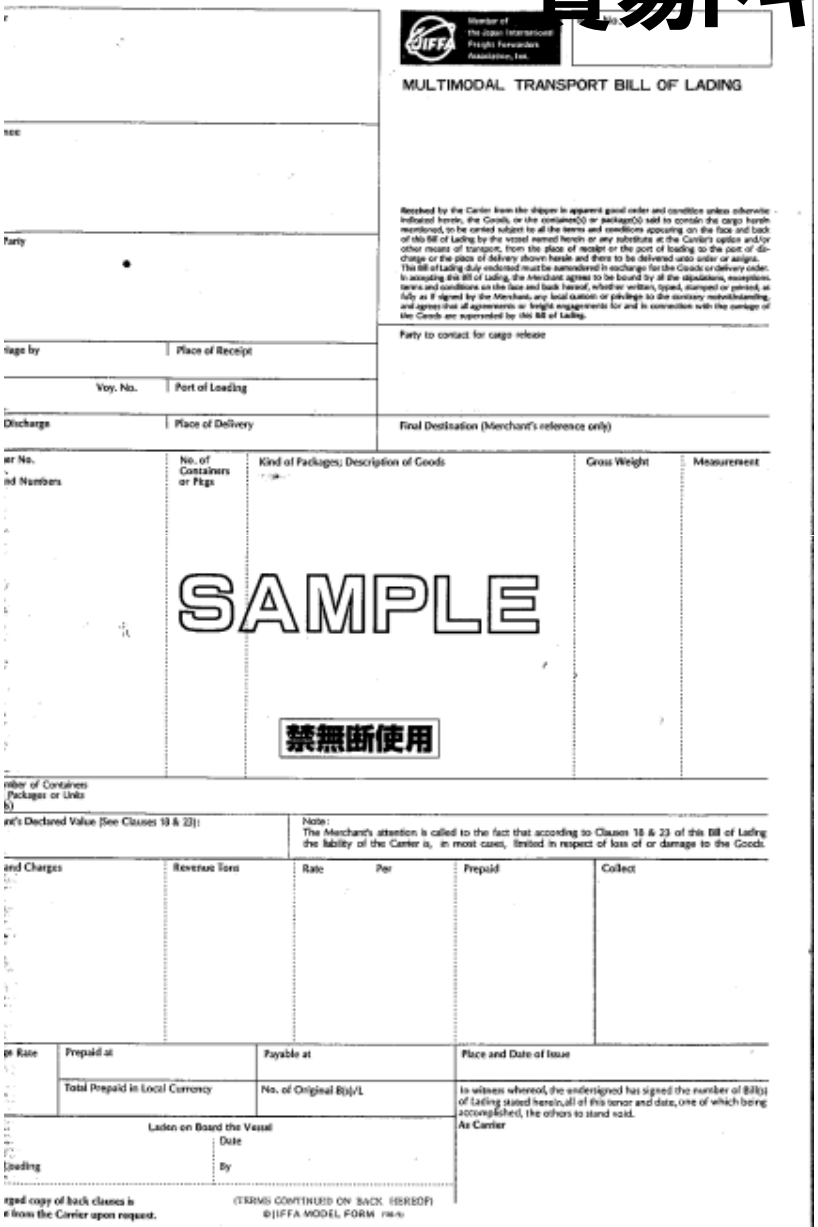
サンプル検品

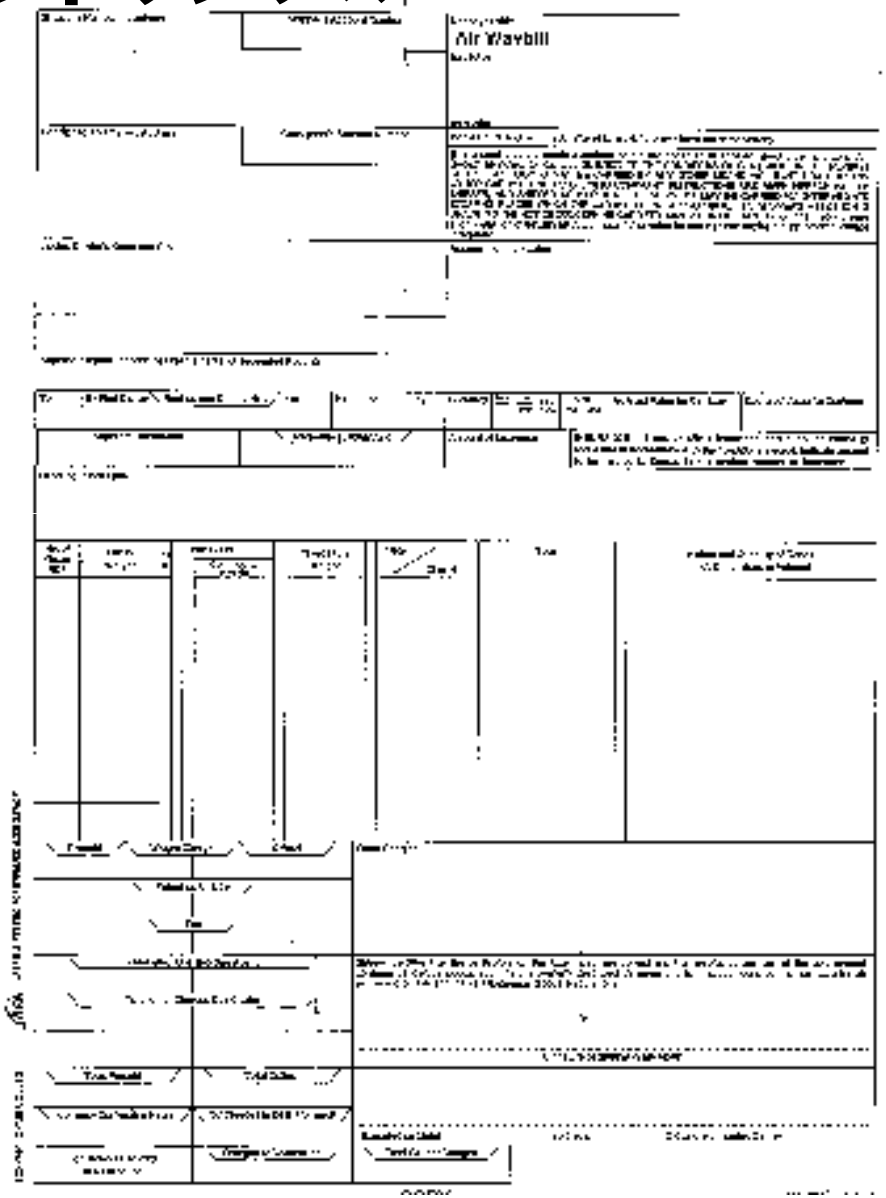
縫製途中検品

検針

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

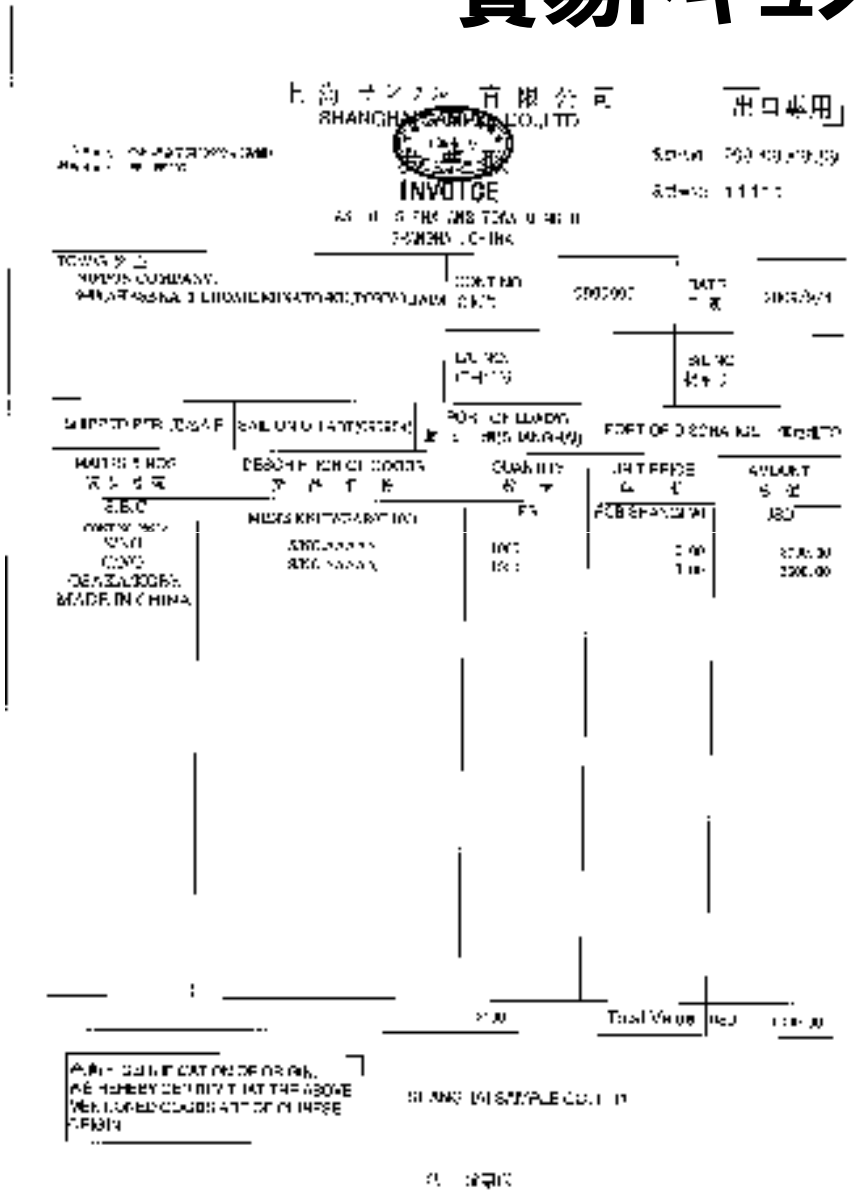
貿易ドキュメントサンプル





All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

貿易ドキュメントサンプル



All rights reserved. 2009 Hideki Yamauchi

3. 関税と法規制

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

輸入関税申告

関　税　＝　（輸入貨物の　課税価格）　X　関税率

課税価格　＝CIF金額＋その他の加算要素

課税価格

CIF金額

- CIF
- C＆F　＋保険
- FOB　＋保険　＋海上・航空運賃
- FCA　＋保険　＋海上・航空運賃

＋

その他の加算要素

- ＋無償提供品（副資材・原材料）
- ＋業務委託料
- ＋コミッション
- ＋ライセンス料・ロイヤリティー
- ＋検査料
- ＋物流加工費
- ＋HDSチャージ
- ＋無償提供の機械設備・部品

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

関税率とHS条約

ＨＳ条約でコード分類、税番・税率を規定

Harmonized Commodity Description and Coding System の略で
118の国・地域が加盟し、200の国・地域が適用

日本におけるＨＳ分類の一例（実行関税率表より）

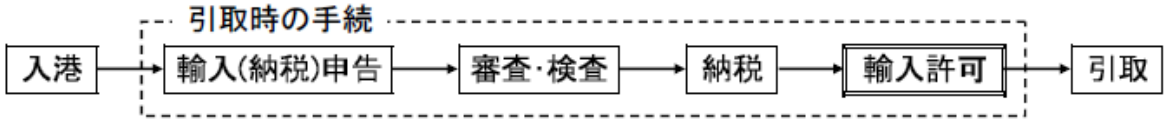
番号 No.	統計細分 Stat. Code No.	NACCS用	品名	税率 Rate of Duty 基本 General	協定 WTO	特恵 Preferential	暫定 Temporary	単位 Unit	Description
61.09			Tシャツ、シングレットその他これらに類する肌着(メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。)						T-shirts, singlets and other vests, knitted or crocheted:
6109.10			綿製のもの						Of cotton:
			1 異なる色の糸から成るもの及びなせんしたもの						1 Of yarns of different colours or printed:
	011	5	(1) ししゅうしたもの、レースを使用したもの及び模様編みの組織を有するもの	16.8%	10.9%	*無税 Free		NO KG	(1) Containing embroidery or lace, or figured
	012	6	(2) その他のもの	14%	10.9%	*無税 Free		NO KG	(2) Other
	020	0	2 その他のもの	11.2%	7.4%	*無税 Free		NO KG	2 Other

各２桁ずつ3段階（即ち6桁）の数字を用いて順に細分化し分類・配列

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

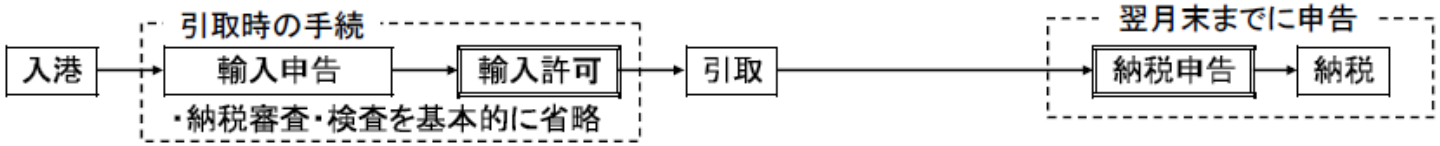
輸入申告と関税

通常の申告（昭和41年～）

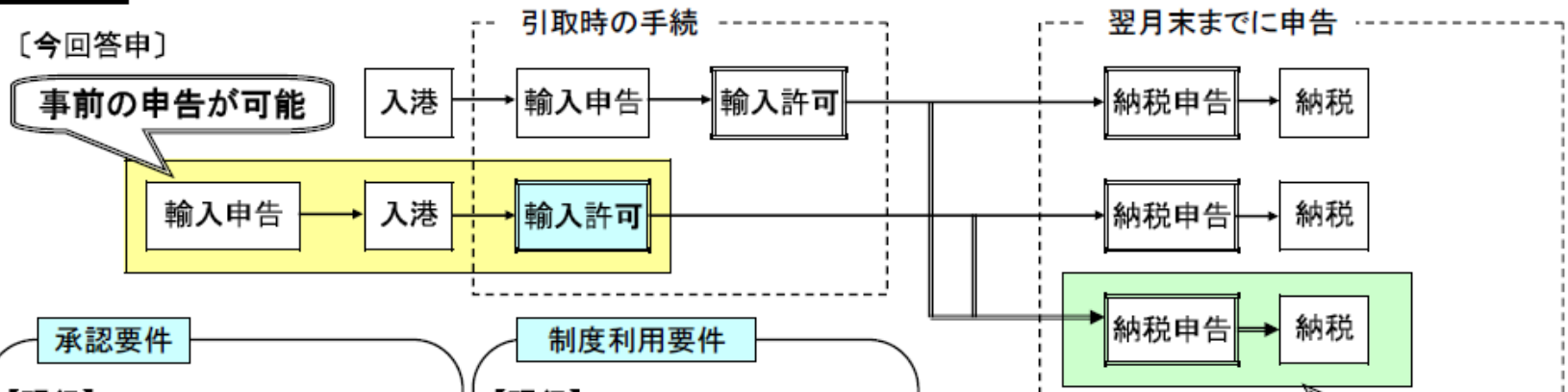


簡易申告 コンプライアンスの優れた者は、輸入申告と納税申告を分離し、貨物の引取り後に納税申告を行うことができる。

（平成13年3月～）



改善後



承認要件

【現行】
・税に関する法令違反がないこと
・納税状況が適正であること　等

〔今回答申〕
・税法以外の法令違反がないこと
・法令遵守規則の制定　等

制度利用要件

【現行】
・貨物の指定
・年間6回以上の輸入実績

〔今回答申〕
・これらの要件の廃止

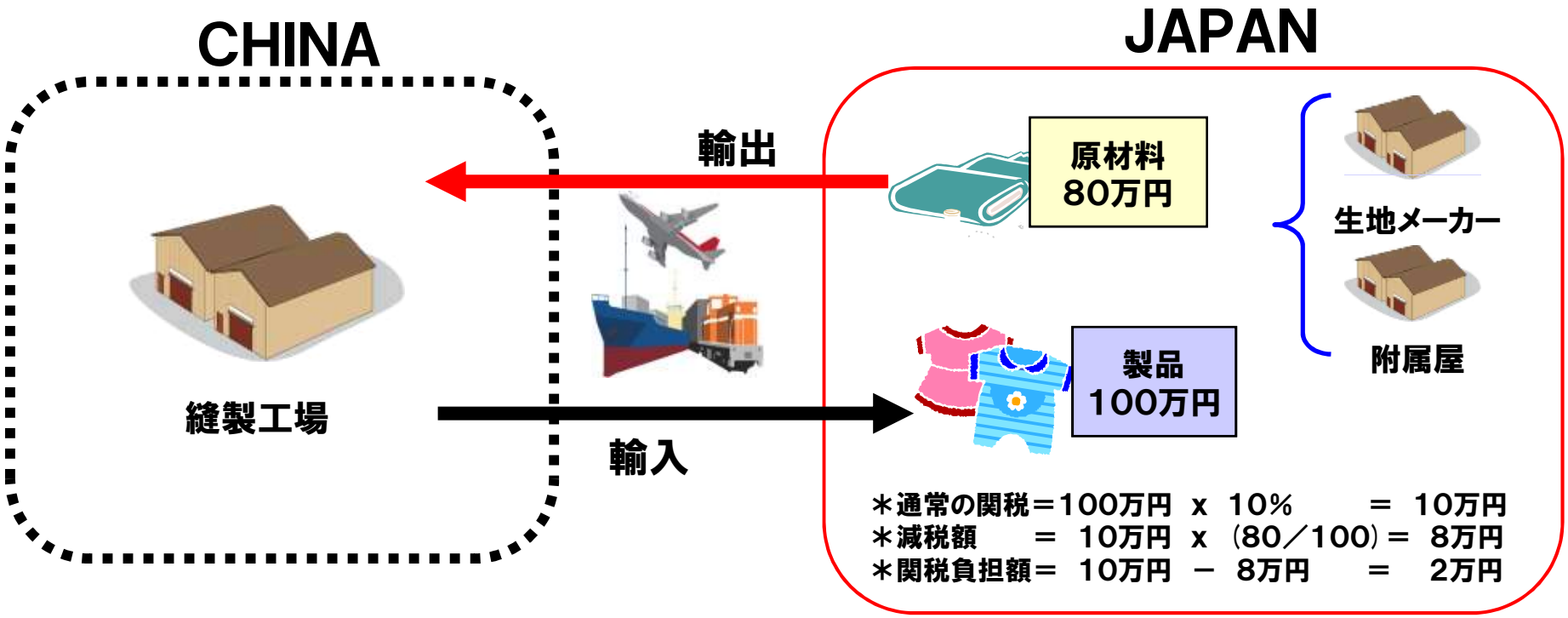
All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

関税減免税制度

関税暫定措置法第八条（通称：暫八）

＜加工再輸入減税制度＞

日本から輸出された原材料が海外で加工・組み立てされ、原則１年以内に輸入される場合、その製品に係わる関税の内原材料の関税相当分が軽減（減税）される。



その他

＜再輸入免税＞　＜再輸出戻し税＞

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

様々な法規

関税法	関税の基本法、手続き、罰則規定など
関税定率法	税率、免減税、輸出入禁製品
関税暫定措置法	暫定変更、追加措置など

外国為替法、著作権法、植物検疫法、食品衛生法、薬事法、

ワシントン条約	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引
ワッセナー・アレンジメント	通常兵器及び関連汎用品・技術の責任ある輸出管理
リスト規制、キャッチオール規制	安全保障輸出管理

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

4. WTOとFTA

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

WTOとFTA

GATT から WTOへ

1948年に発足したGATTは最恵国待遇、加盟国間の関税軽減、非関税障壁撤廃などが話し合われたが、ウルグアイラウンドを最後に1994年に発展的に解消。

1995年に設立されたWTOは現在１５１カ国が加盟。農産物等の貿易自由化、途上国貿易の優遇などを中心に話し合われている。

FTAとEPA

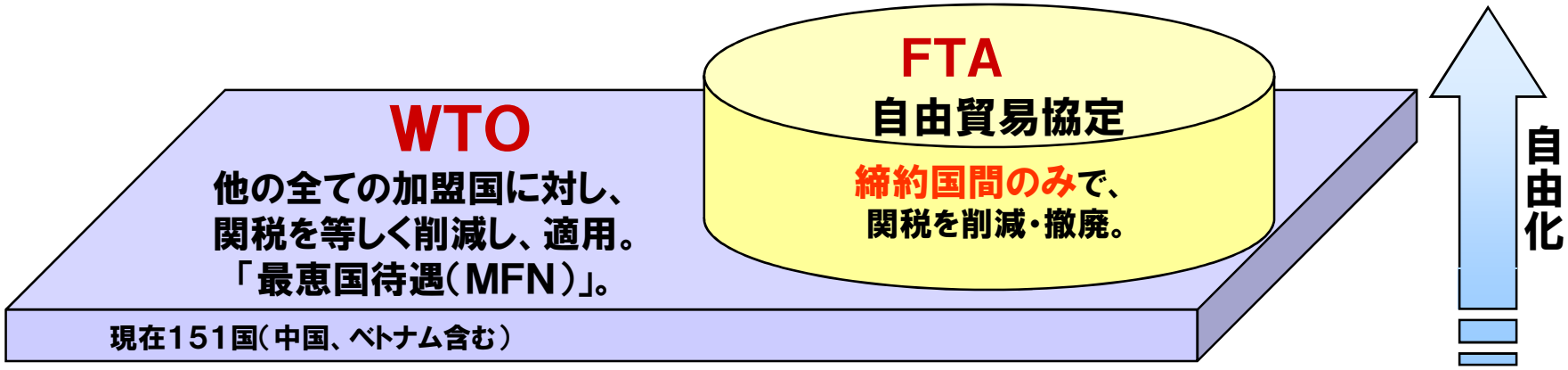
二国間（または地域）のみの自由貿易協定。加盟国の多いWTOの自由化交渉が滞る中、手っ取り早く2国間で優位な協定を結ぶ方法。

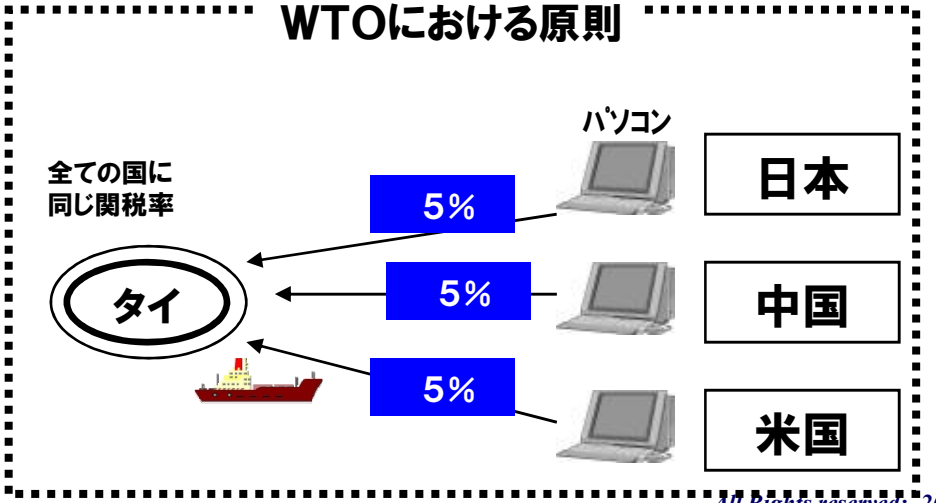
加えてモノ以外の、投資、人材など広義での自由化を求める条約がEPA。

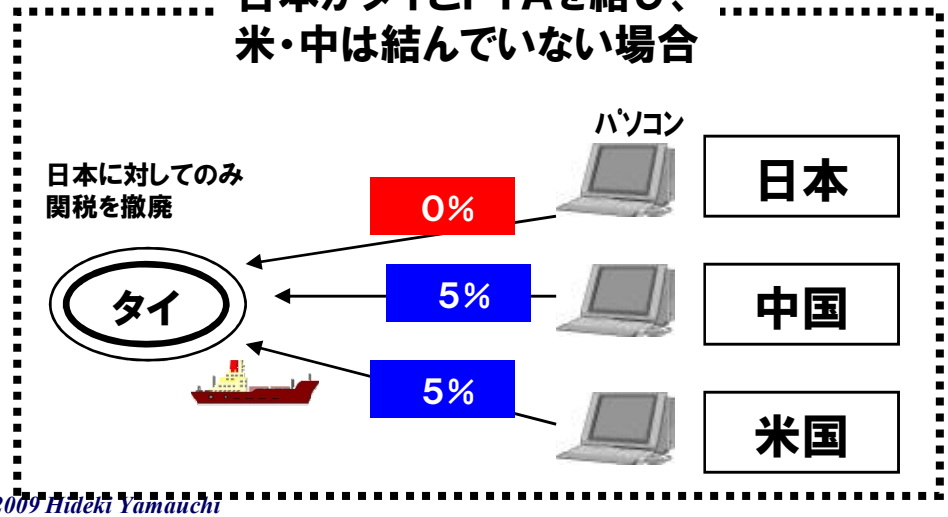
All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

WTO（世界貿易機関）とFTAの関係

★ WTO（世界貿易機関）は、世界全体で等しく関税の削減を目指す。
★ 平行して、更にFTAより、締約国間のみで関税の削減・撤廃を行う。







All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

EPAとFTA

自由貿易協定
（FTA：Free Trade Agreement ）

特定の国や地域の間で、物品の関税やサービス貿易の障壁等を削減・撤廃する協定。

- 関税の削減・撤廃
- サービスへの外資規制撤廃

Etc.

経済連携協定
（EPA:Economic Partnership Agreement ）

自由貿易協定を柱にヒト、モノ、カネの移動の自由化、円滑化を図り、幅広い経済諸制度の調和を含めた経済全体の連携を目指した協定。

- 人的交流の拡大
- 多分野での協力
- 投資規制撤廃
  投資ルールの整備
- 知的財産制度
  競争政策の調和

Etc.

日本は関税の撤廃だけでなく、投資や協力などを含む幅広い経済関係強化を目指す。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

FTAと原産地規則

★FTAにおいて関税の減免を受ける当該製品が「FTA原産地」の原産であることが必須。

★FTA原産地規則は、当該物品の生産、加工又は製造がその国の原産であるかを判断するルールを規定したものである。

＜原産地規則の種類＞

○　関税法上の原産地規則　→　WTO加盟国に対し協定税率を適用

○　特恵原産地規則　→　開発途上国に対し、特恵税率を適用

　　ミャンマー：関税フリー　0％

　　ベトナム、タイ、インドネシア　：衣類に関しては殆ど特恵適用不可

○　FTA原産地規則　→　FTA締結国に対し税率の減免を適用

FTA原産地規則はFTA協定毎に交渉して決定。
通関手続が非常に複雑に→スパゲティ・ボウル現象

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

繊維FTAに関する日本提案の根底にある考え

★FTA締結により両国繊維産業がWIN・WINの関係を構築する事が大原則

★両国繊維産業がWIN・WINの関係を構築する為には縫製のみならず
　テキスタイル産業も発展させることが必要不可欠。

★ハイレベルなFTA（全品目即時関税撤廃）

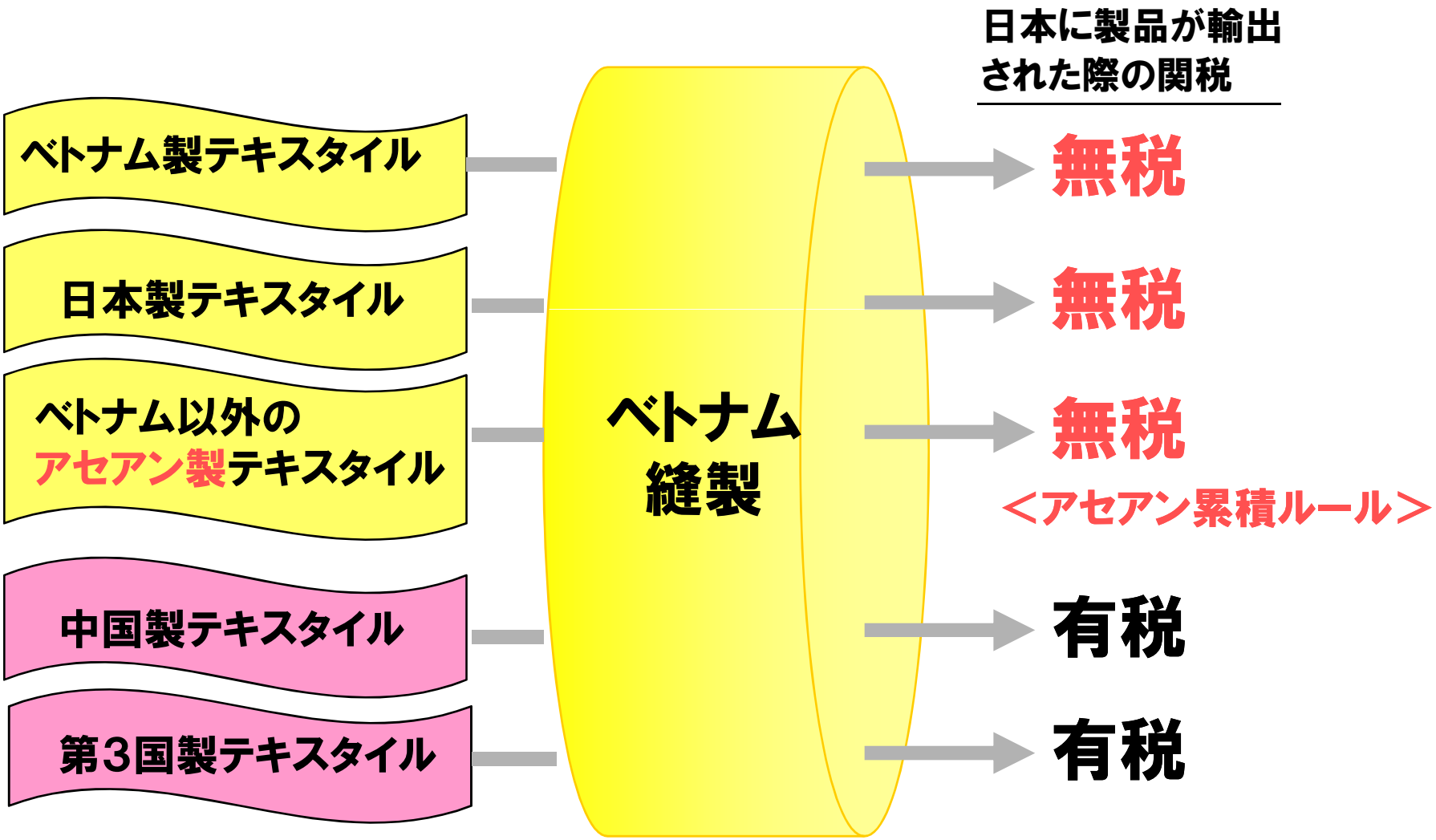
★テキスタイルから縫製までの総合力のある国・地域【アセアン累積ルール】

★迂回輸入の防止も重要　第３国（中国等）が利益享受できない仕組み

テキスタイル製造業を軽視する１工程ルールは不可
【２工程ルール】ファブリック・フォワード

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

日本の提案する原産地規則（衣類）



All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

経済連携協定（EPA）の意義

- 対外経済関係の発展、経済的利益の確保
- 我が国にとっての有益な国際環境の形成
- WTOを中心とする多角的な自由貿易体制の補完
- 我が国及び相手国の構造改革の推進
- 東アジア共同体の構築　等

1990年代初めにアメリカがカナダと・メキシコとNAFTA（北米自由協定）を締結。
その後、多くの地域でFTA／EPAが締結。（現在200近くのFTA／EPAが存在）

1．WTOに参加する国が増えより多くの分野での交渉が求められる、交渉により多くの時間がかかる。
　→より早く自由化の成果をあげるためにFTA／EPAを同時に進める。

2．近隣諸国との貿易・投資の重要性が高まっている。（日本、韓国、台湾などから東南アジア諸国や中国に向けて高度な部品等が輸出され、最終製品に組み立てられて欧米に輸出など）
　→地域内での分業の展開と貿易の拡大が、域内での経済連携強化の必要性を高めている。

3．各地域における新興工業国や発展途上国の自由化を促す手段としてFTA／EPAが利用される。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

我が国の各国とのEPA取り組み状況

締結

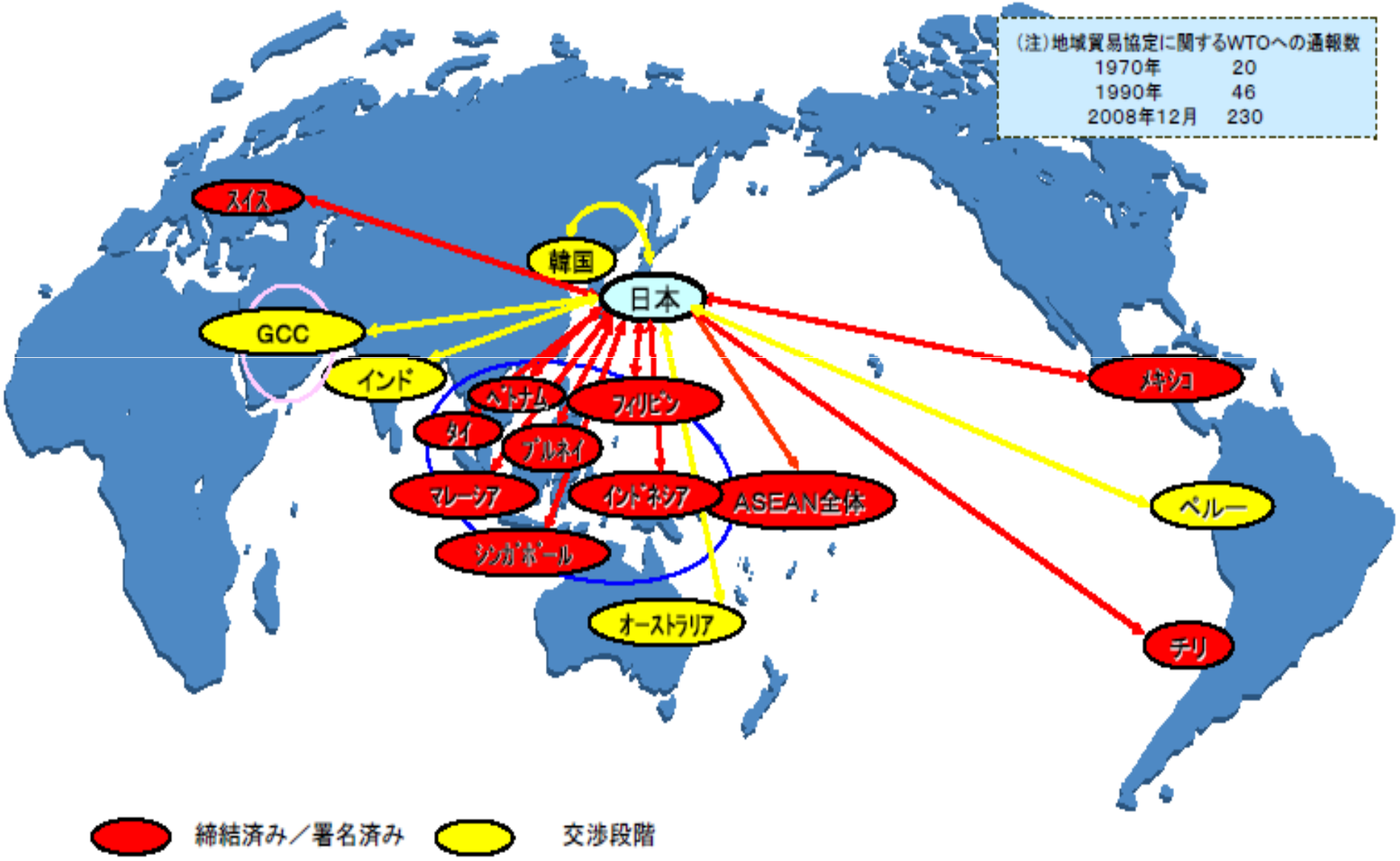
1. 日シンガポールEPA　：　2002年11月発効
2. 日メキシコEPA　：　2005年　4月発効
3. 日マレーシアEPA　：　2006年　7月発効
4. 日チリEPA　：　2007年　9月発効
5. 日タイEPA　：　2007年11月発効
6. 日ブルネイEPA　：　2007年11月発効
7. 日インドネシアEPA　：　2008年　7月発効
8. 日アセアンEPA　：　2008年 12月～
   （シンガポール、ラオス、ベトナム、ミャンマー　→　ブルネイ、マレーシア、タイ）
9. 日フィリピンEPA　：　2008年　12月発効
10. 日ベトナムEPA　：　2009年　　8月発効
11. 日スイスEPA　：　2009年　　9月発効

交渉中

韓国、インド、オーストラリア

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

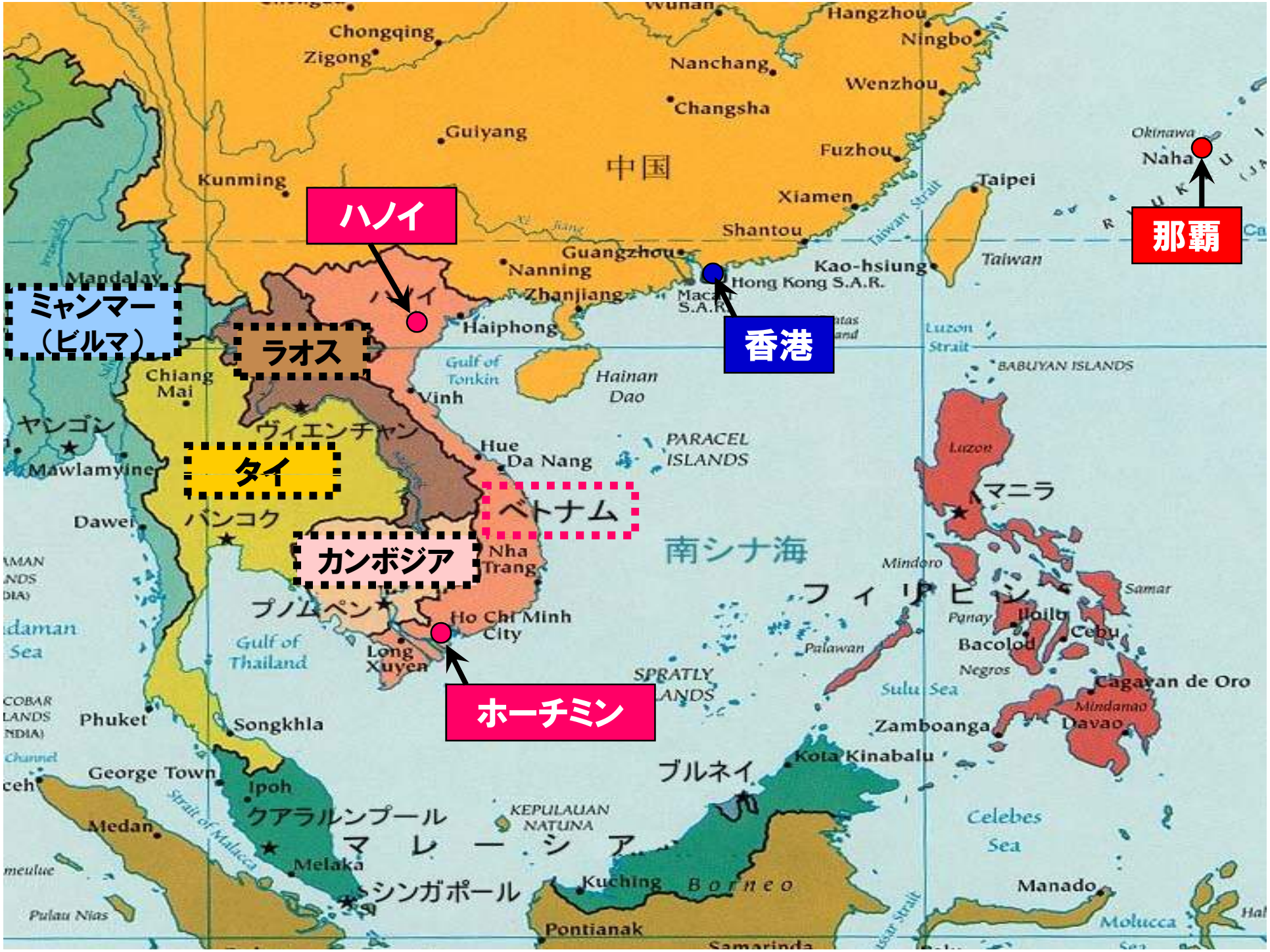
世界の主要な経済連携の動き



All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

5. チャイナ・プラス・ワン

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

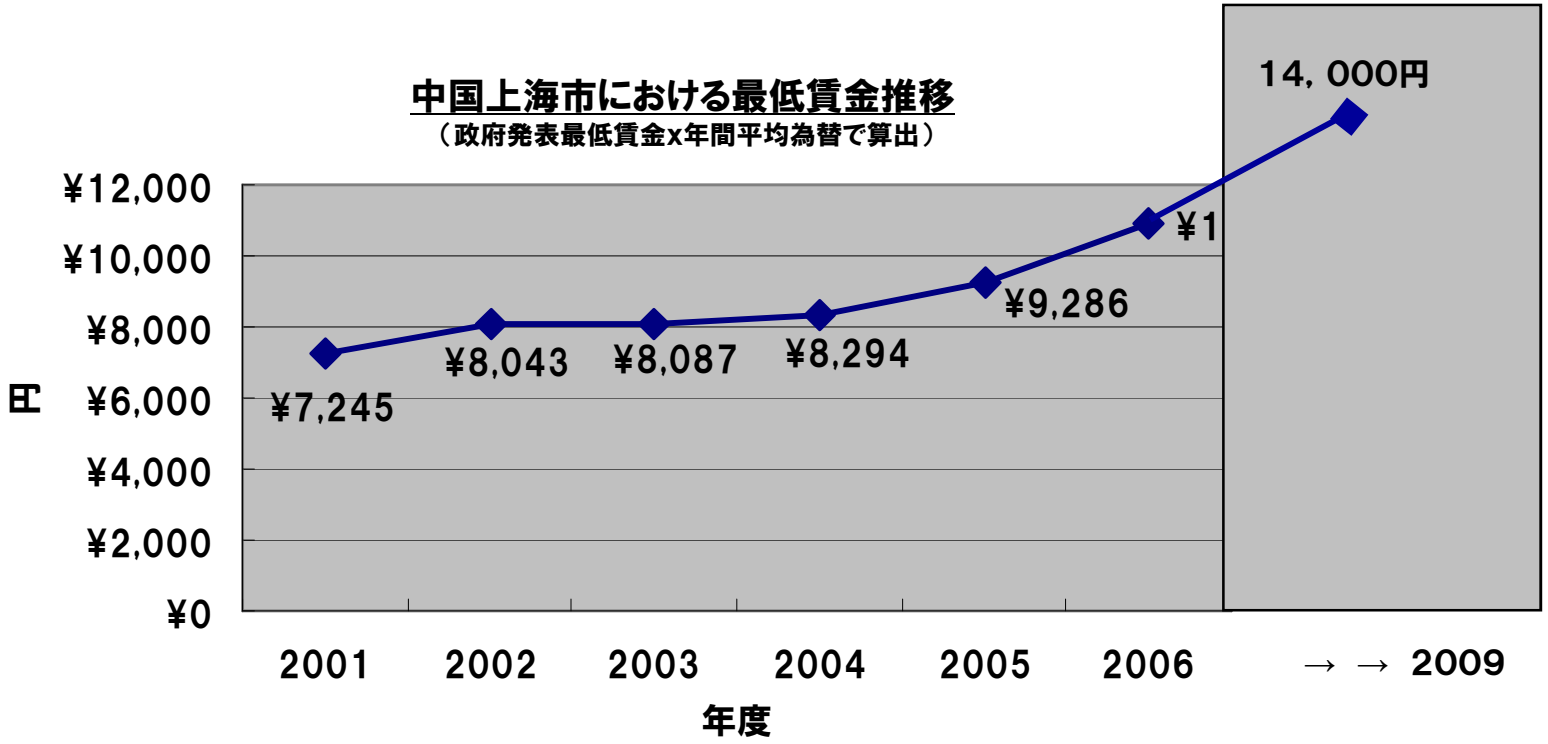


ハノイ
那覇
香港
ミャンマー（ビルマ）
ラオス
タイ
ベトナム
カンボジア
ホーチミン
中国
Chongqing
Zigong
Nanchang
Changsha
Hangzhou
Ningbo
Wenzhou
Guiyang
Fuzhou
Kunming
Xiamen
Shantou
Taipei
Taiwan
Okinawa
Naha
Guangzhou
Nanning
Zhanjiang
Hong Kong S.A.R.
Kao-hsiung
Haiphong
Gulf of Tonkin
Hainan Dao
Vinh
Chiang Mai
Mandalay
ヤンゴン
Mawlamyine
Dawei
ヴィエンチャン
バンコク
Hue
Da Nang
PARACEL ISLANDS
Nha Trang
Ho Chi Minh City
Long Xuyen
プノムペン
Gulf of Thailand
南シナ海
フィリピン
マニラ
Luzon
Luzon Strait
BABUYAN ISLANDS
Mindoro
Samar
Panay
Iloilo
Cebu
Bacolod
Negros
Palawan
SPRATLY ISLANDS
Sulu Sea
Cagayan de Oro
Mindanao
Davao
Zamboanga
Kota Kinabalu
ブルネイ
Phuket
Songkhla
George Town
Ipoh
クアラルンプール
マレーシア
Melaka
シンガポール
Medan
Strait of Malacca
KEPULAUAN NATUNA
Kuching
Borneo
Pontianak
Celebes Sea
Manado
Molucca
Pulau Nias

中国における労働力確保とコスト増

中国における労働者問題

１）労働者の賃金、為替などが上昇しており大幅はコスト増となっている
２）少しでも給与のよい職場へ安易に流動する
３）春節などの休暇の後に労働者が戻らない



All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

我が国の東アジアとの繊維品貿易状況（2008年）

アセアン地域は中国に次ぐ貿易相手

アセアン各国別ではベトナム、インドネシア、タイが上位3国

1. 対世界繊維品輸出総額 ： 9,053億円

単位：億円

	輸出額	対世界
アセアン	1,355	15.0%
タイ	331	3.7%
マレーシア	128	1.4%
フィリピン	104	1.1%
インドネシア	197	2.2%
ベトナム	461	5.1%
韓国	452	5.0%
中国	3,464	38.3%

2. 対世界繊維品輸入総額 ：3兆2636億円

単位：億円

	輸入額	対世界
アセアン	2,585	7.9%
タイ	506	1.6%
マレーシア	169	0.5%
フィリピン	105	0.3%
インドネシア	572	1.8%
ベトナム	1066	3.3%
韓国	574	1.8%
中国	25,412	77.9%

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

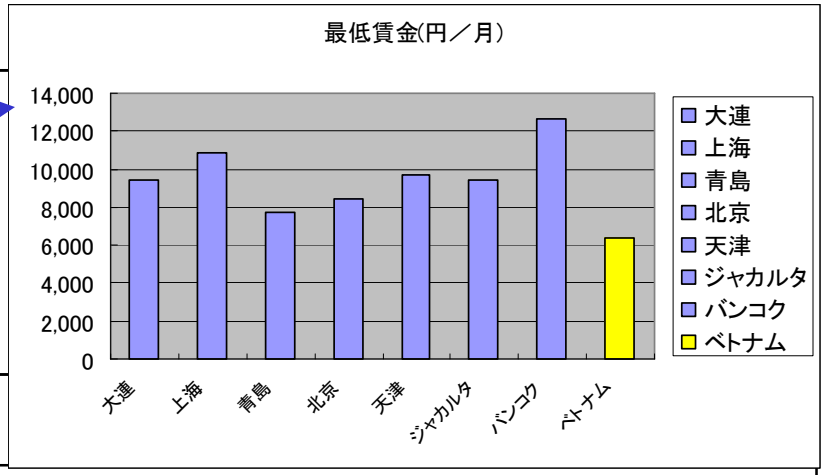
ベトナムの概況

1．ベトナムの優位性

1）政治の安定性（共産党一党）
2）経済の持続的安定成長
（05年：8.5%　06年：8.2%　07年：8.3%見通し）
3）勤勉で優秀な人材
（人口8300万人、まじめな国民性、労働賃の安さ、地元労働が中心）
4）チャイナ+1（中国のリスクヘッジ、反日感情）

2．進出日系企業から見たベトナムの魅力

①安価な労働力（81.7%）
②他国のリスク分散の受け皿（38.9%）
③優秀な人材（38.1%）
④現地市場の成長性（35.7%）　（2005年JBIC調査より）

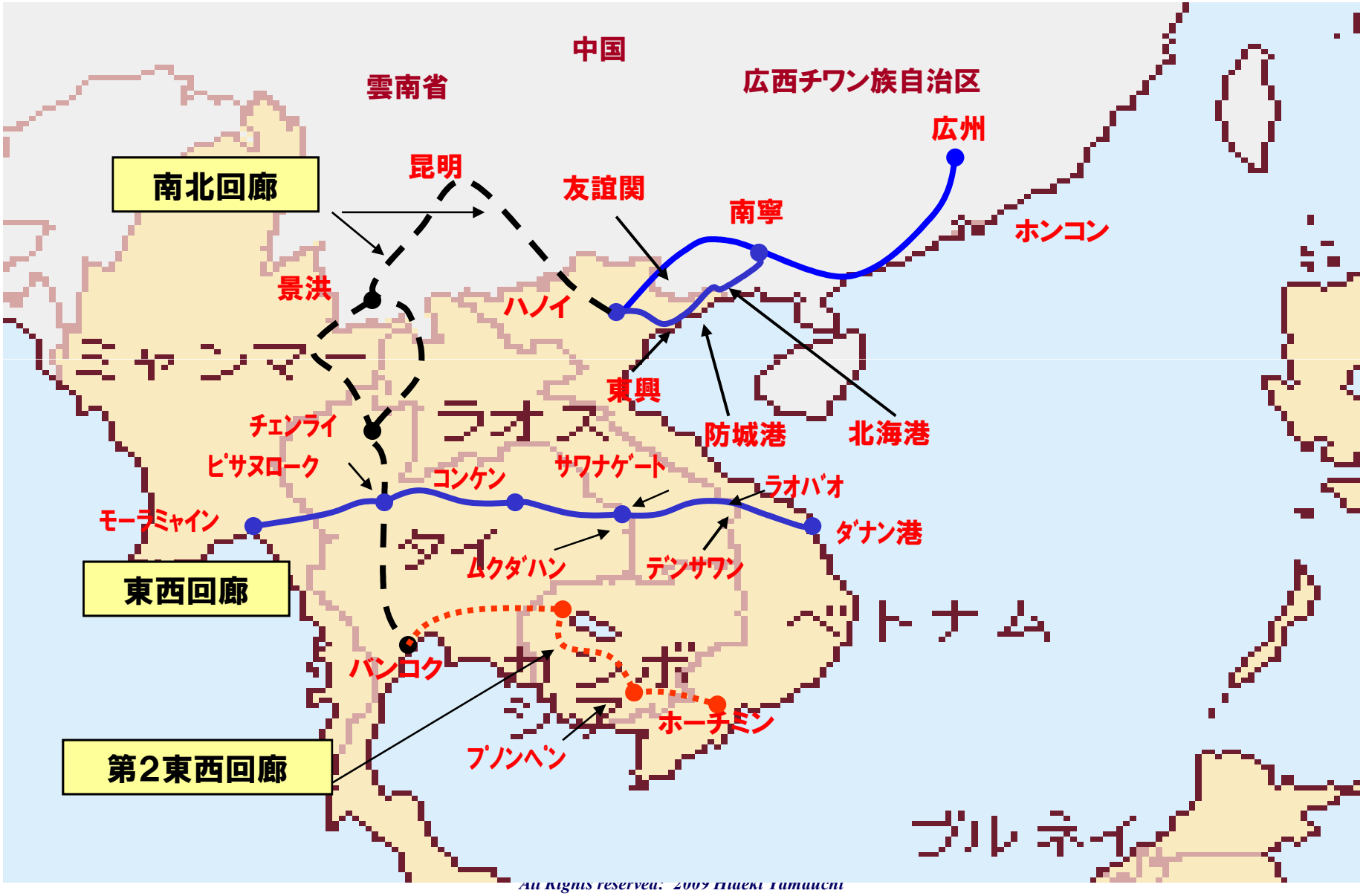


3．ベトナムの抱える課題

進出日系企業が抱える主な問題点は以下の通り。
1）投資環境面　：インフラの整備が不十分、政府の不透明な政策運営、法整備の未整備
2）生産面　　：原材料、部品の現地調達が難しい、調達コストの上昇、品質管理
3）雇用・労働面　：賃金上昇、中間管理職の採用難、技術者の採用難

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

Greater Mekong Subregion（拡大メコン地域）

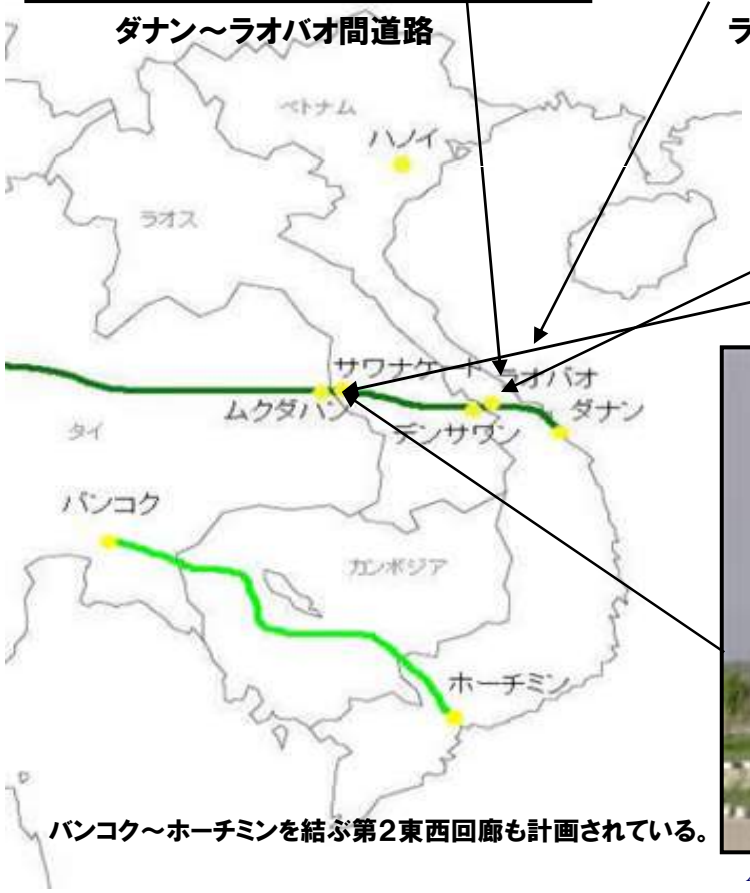


All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

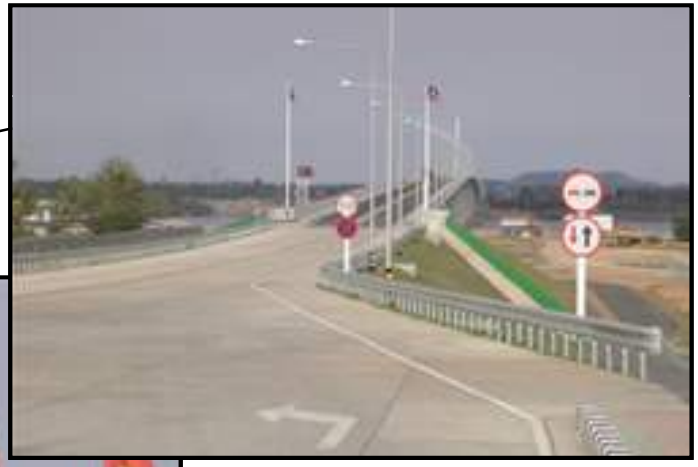
ダナン～ラオバオ間道路

ラオバオ国境ゲート

現在使用されているラオス側国境税関



バンコク～ホーチミンを結ぶ第２東西回廊も計画されている。



第２メコン国際橋

第２メコン国際橋
ラオス側ゲート手前

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

ハノイの街並

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

ハイフォンの港湾設備

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

ホーチミン市内

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

ホーチミンのコンテナターミナル

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

カンボジア一般情報

★総面積：181,040km2（日本の約50%）
★人口：約1,500万人
★首都：プノンペン
★言語：クメール語（成人識字率：68%）
★人種：カンボジア族（80%）、
少数民族（チャム族、プノン続等）
外国人は華僑とベトナム人が
最も多い。
★宗教：小乗仏教（90%）

主要産業

サービス業:		39%
工業	:	27%
農業	:	27%
その他	:	7%

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

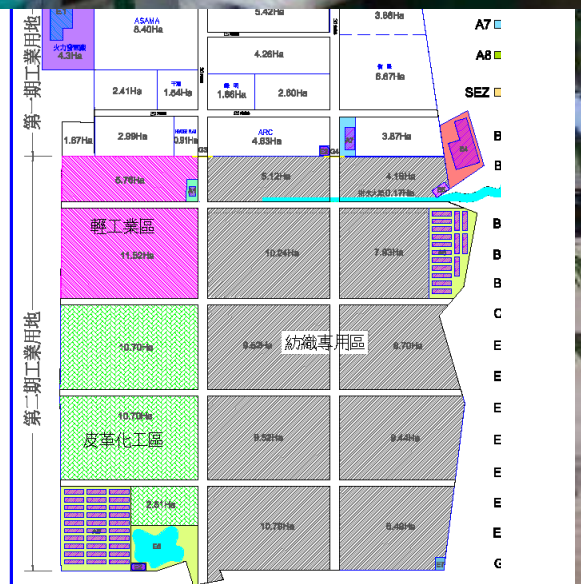
ホーチミン→ベトナム国境

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

ホーチミン→ベトナム国境→カンボジア国境

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

マンハッタン経済特区



All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

６. グローバル調達のポイント

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

グローバル調達のポイント

1. 商品の特性を表現し生かすための最適仕入先や加工先を選択

ファションビジネスのコアであるソフト(アート)的な要素を十分表現するための、最適な素材、付属、縫製技術などの選択に関しては、十分に「こだわる」必要がある。科学的な合理性を追求しすぎる為にこの部分が失われることは、商品価値にとってデメリットとなる。

2. 仕入れ先の工場評価や、カントリーリスクなども考慮に入れた調達計画

しかし調達先が海外に広がり、一国集中の懸念が出ている状況下では、カントリーリスクも十分考慮に入れる必要がある。縫製工場を開業するなら、独資、合弁などの形態があり、委託加工する場合では、相手先の信頼度など、総合的にリスクを回避する方策を採る。同時に中国一国集中への懸念も考慮。

3. 与信面、金銭面でのリスクファクターを十分考慮する

海を隔てた海外からの調達には、素材の加工入れの際の寄託与信の設定や、仕入れに際しての売買条件の確認などリスクを軽減する手法をとる。

4. 納期短縮、仕入れコストダウンのための施策

海外調達先から日本へのロジスティックを事前に確認し最適化を検討する。また、工場の選択過程においては、製品のコストダウンと同様に、調達先の地理的な分布を考慮した集約配送などにより物流コストも考える。

5. 品質保持のための

海外から品物が到着してからの品質検査では、場合によっては仕入先との返品交渉が進まなかったり、店頭での売りのがしなどでロスが広がる。調達国での事前検査などが理想的である。

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi

山内秀樹
yamauchih@sumikinbussan.co.jp

All rights reserved

All Rights reserved: 2009 Hideki Yamauchi